

2020年レーザー関西選手権大会（和歌山セーリングセンター）
「ワールドマスターズゲームズ 2021 イン関西」プレレガッタ

帆走指示書（Sailing Instructions）

1 規則

- 1.1 セーリング競技規則（以下、「規則」という。）に定義された規則、インターナショナルレーザークラス規則を適用する。
- 1.2 艇をチャーターした場合のセール番号は、チャーター艇の艇体番号あるいはチャーターする本人の艇の艇体番号に合ったものでなければならない。
- 1.3 [DP] は、プロテスト委員会の裁量でペナルティーが決定する規則を意味する。
[NP]は、この規則の違反は艇による抗議の根拠とはならないことを意味する。これは規則60.1(a)を変更している

2 広告

艇は主催団体から広告を支給された場合、広告ステッカーを艇に貼付しなければならない。

3 競技者への通告

競技者への通告は、クラブハウス北側壁面の公式掲示板に掲示する。

4 帆走指示書の変更

- 4.1 帆走指示書（以下、「指示」という。）の変更は、それが発効する当日の当該クラスの予告信号予定時刻の60分前までに掲示する。
- 4.2 レース日程の変更は、それが発効する前日の18時00分までに掲示する。

5 陸上で発する信号

- 5.1 陸上で発する信号は、和歌山セーリングセンター「クラブハウス」2階北側にある信号柱に掲揚する。
- 5.2 音響1声とともに掲揚される「D旗」は、「予告信号は、D旗掲揚後30分以降に発する。」ことを意味する。艇は、この信号が発せられるまで、離岸してはならない。[DP] [NP]
- 5.3 指示6.1に示された個別のレースに対して、「AP旗」は掲揚しない。予告信号予定時刻の30分前までに「D旗」が掲揚されない場合、そのレースのスタートは、時間の定めなく延期されている。

6 レース日程

- 6.1 レースの日程は、以下のとおりとする。

10月10日(土)

08:45~09:30 大会受付、大会計測（計測シートの提出）

09:30 開会式・艇長会議

10:55 最初のクラスの1日目の第1レースの予告信号、引き続きレースを行う。

10月11日(日)

10:25 最初のクラスの2日目の最初のレースの予告信号、引き続きレースを行う。

16:30 (予定) 閉会式、表彰式

- 6.2 1つのレースまたは一連のレースが間もなく始まることを艇に注意を喚起するために、予告信号を発する最低5分以前に音響1声とともに「オレンジ色のスタート・ライン旗」を掲揚する。
- 6.3 10月11日(日)には、14時00分より後に予告信号を発しない。

7 クラス旗

クラス旗は、以下のとおりとする。

クラス	クラス旗
レーザースタンダードクラス	レーザークラス旗 (白地に赤のクラスマーク)
レーザージャイアルクラス	レーザージャイアル級クラス旗 (緑地に赤のクラスマーク)
レーザ-4.7クラス	レーザ-4.7級クラス旗 (黄地に赤のクラスマーク)

8 レース・エリア

和歌山市和歌浦湾で「添付資料1」に示す。

9 コース

- 9.1 「添付資料2」の見取図は、レグ間の概ねの角度、通過するマークの順序、それぞれのマークをどちら側に見て通過するかを含むコースを示す。
- 9.2 予告信号以前に、レース委員会の信号艇に最初のレグのおおよそのコンパス方位を掲示する。

10 マーク

- 10.1 マーク1、2sおよび2pは、緑色の円錐形ブイ、マーク1aは緑色の帯の黄色の細い円筒形ブイとする。
- 10.2 スタート・マークは、レース委員会の信号艇とオレンジ色の円柱形ブイとする。
- 10.3 フィニッシュ・マークは、レース委員会艇とオレンジ色の三角錐形ブイとする。
- 10.4 指示12に従い、コースの次のレグの変更により新しいマークを用いる場合には、ピンク色の円錐形ブイを使用する。マーク1aは赤帯の黄色の細い円筒形ブイとする。

11 スタート

- 11.1 スタート・ラインは、スターボードの端にあるスタート・マーク上のオレンジ旗を掲揚しているポールと、ポートの端にあるスタート・マークのコースの側との間とする。
- 11.2 他のレースのスタート手順の間、予告信号が発せられていない艇は、スタート・ラインから風下側に概ね100m以上離れていなければならない。添付図2参照のこと。[DP] [NP]
- 11.3 スタート信号後4分より後にスタートする艇は、審問なしに「スタートしなかった(DNS)」と記録される。この項は、規則A4を変更している。
- 11.4 ゼネラル・リコールの際、艇に速やかに知らせるため、レース委員会の信号艇以外のレース委員会艇にも「第1代表旗」を掲揚する場合がある。ただし、レース委員会の信号艇以外のレース委員会艇が行う「第1代表旗」の掲揚・降下については、規則レース信号「予告信号は、降

下の1分後に発する」の意味を持たず、また音響の有無も無視されるものとする。この項は、規則レース信号および規則 29.2 を変更している。

12 コースの次のレグの変更

コースの次のレグを変更するために、レース委員会は新しいマークを設置し（またはフィニッシュ・ラインを移動し）、実行できれば直ぐに元のマークを除去する。

13 フィニッシュ

フィニッシュ・ラインは、スターボードの端にあるフィニッシュ・マーク上のオレンジ旗を掲揚しているポールと、ポートの端にあるフィニッシュ・マークのコースの側の間とする。

14 ペナルティー方式

14.1 付則 P が指示 14.2 により変更されて適用される。

14.2 規則 P2.3 は適用されず、規則 P2.2 を変更し、2 回目以降のペナルティーには規則 P2.2 が適用される。

15 タイム・リミットとターゲットタイム

15.1 タイム・リミットとターゲットタイムは、次の通りとする。

マーク 1 のタイム・リミット	20 分
ターゲットタイム	40 分

マーク 1 のタイム・リミット内に 1 艇もマーク 1 を通過しなかった場合には、レースを中止する。目標時間通りとならなくても、救済の根拠とはならない。これは、規則 62.1(a) を変更している。

15.2 最初の艇がコースを帆走してフィニッシュした後 20 分以内にフィニッシュしない艇は、審問なしに「フィニッシュしなかった (DNF)」と記録される。この項は、規則 35、A4 および A5 を変更している。

15.3 スタート信号後にレースを中止する場合、艇に速やかに知らせるため、レース委員会の信号艇以外のレース委員会艇にも、「N旗」「H旗の上にN旗」あるいは「A旗の上にN旗」を掲揚することがある。ただし、レース委員会の信号艇以外のレース委員会艇が行う「N旗」の掲揚・降下については、規則レース信号「予告信号は、降下の1分後に発する」の意味は持たないものとし、また音響の有無も無視されるものとする。この項は、規則レース信号および 32.1 を変更している。

17 抗議と救済要求

17.1 抗議および救済または審問再開の要求は、「プロテスト委員会事務局」で入手できる用紙に記入のうえ、締切時間内に「プロテスト委員会事務局」に提出しなければならない。

17.2 抗議締切時刻は掲示する。抗議締切時刻は、その日の最後のクラスの最終レース終了後、またはレース委員会が、「本日はこれ以上レースを行わない」という信号を発した後のどちらか遅い方から 60 分とする。ただし、プロテスト委員会の裁量により、この時刻を延長することがある。

17.3 プロテスト委員会は、ほぼ受付順に審問を行う。審問の当事者および証人として指名された競

技者に審問のことを知らせるため、抗議締切時刻後 30 分以内に通告を掲示する。

- 17.4 レース委員会またはプロテスト委員会による抗議の通告を、規則 61.1(b)に基づき伝えるために掲示する。
- 17.5 規則 42 違反に対するペナルティーを課せられた艇のリストを掲示する。
- 17.6 審問再開は、判決を通告された日の翌日の 9 時 00 分までの間に限り求めることができる。ただし、10 月 11 日（日）に判定を通告された場合には、判決を通告されてから 15 分以内とする。この項は、規則 66 を変更している。
- 17.7 10 月 11 日（日）のプロテスト委員会の判決に基づく救済要求は、判決の掲示から 15 分以内に提出されなければならない。この項は、規則 62.2 を変更している。

18 得点

- 18.1 本大会は各クラスとも 7 レースが予定され、それぞれ 1 レースの完了をもって成立する。
- 18.2 艇の得点は、完了したレースが 3 レース以下の場合には全レースの合計得点とし、4 レース以上完了した場合は最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。
- 18.3 指示 19 の申告に関する手続きに誤りのあった艇に対して、レース委員会は審問なしに 20% の得点ペナルティー（DNF の得点の 20%、小数点以下四捨五入）を与える。ただし、その艇は「フィニッシュしなかった艇」より悪い得点が与えられることはない。この項は、規則 63.1、A4 および A5 を変更している。なお、引き続きのレースが行われた場合には、指示 19.1 の手続きの誤りについてはその直後のレースに、指示 19.2 の手続きの誤りについてはその直前のレースにペナルティーを課す。
- 18.4 参加艇数とは、10 月 10 日（土）開会式までに大会受付を完了した艇数とする。

19 申告

- 19.1 出艇しようとする艇の艇長は、当該クラスの「D 旗」掲揚 10 分後までに申告を行わなければならない。[NP]
- 19.2 帰着した艇の艇長は、当該クラス種目のその日の最後のレース終了後、またはレース委員会が、「本日はこれ以上レースを行わない」という信号を発した後、どちらか遅い方から 60 分後までに帰着申告を行わなければならない。ただし、レース委員会の裁量により、この時間を延長することがある。[NP]
- 19.3 レースの中止または延期により帰着した場合も、帰着申告を行わなければならない。中止または延期されたレースが再開される場合、指示 19.1 に従い、再び出艇申告を行わなければならない。[NP]
- 19.4 リタイアしようとする艇および引き続き行われるレースに出走しない艇は、その意思を近くのレース委員会艇に伝え、すみやかにレース海面を離れなければならない。当該艇の艇長は、帰着後直ちに指示 19.2 の帰着申告を行わなければならない。

20 安全規定

- 20.1 レース委員会は、危険な状態にあると判断した艇に対し、リタイアの勧告および強制救助を行うことができる。この項は、艇による救済要求の根拠にはならない。この項は、規則 62.1(a) を変更している。
- 20.2 海上では常に適切な救命胴衣（ライフジャケット）を着用しなければならない。ウェットスー

ツおよびドライスーツは適切な救命胴衣とは見なされない。もし、救命胴衣の浮力装置が膨張式のものであれば、海上では常に膨張させた状態で着用しなければならない。これは規則 40 を変更している。[DP] [NP]

21 装備の交換と計測のチェック

- 21.1 損傷または紛失した装備の交換は、テクニカル委員会の承認なしでは許可されない。交換の要請は、最初の妥当な機会に、書面によりテクニカル委員会事務局に行わなければならない。
[DP] [NP]
- 21.2 艇または装備は、クラス規則と実施要項ならびに帆走指示書に従っていることを確認するため、いつでも検査されることがある。水上で艇は、計測艇より検査のために、直ちに指定したエリアに向かうことを指示されることがある。[DP]

22 運営艇

運営艇の識別旗は、以下のとおりとする。

運営艇	識別旗
レース委員会艇	白地に赤字「RC」
プロテスト委員会艇	赤地に白字「PROTEST」
救助艇	緑地に白字「RESCUE」
報道艇	白地に緑文字「MEDIA」
テクニカル委員会艇	白地に赤字「MEASUREMENT」

23 支援艇 [DP] [NP]

- 23.1 支援艇の出艇および帰着申告は、署名方式で行う。署名用紙は、「レース申告受付所」に用意される。
- 23.2 出艇から帰着するまでの間、「ピンク色旗」を明確に掲揚しなければならない。「ピンク色旗」はレース委員会で用意され、閉会式までに返却しなければならない。
- 23.3 艇および運営艇の運航を妨げてはならない。また最初にスタートするクラスの予告信号時刻からすべての艇がフィニッシュするか、もしくはリタイアするか、またはレース委員会が延期、ゼネラル・リコールもしくは中止の信号を発した 2 分後までは、支援艇はレースをしているエリアの 100m 以上の外側にいなければならない。
- 23.4 天候等の状況により、レース委員会から支援艇に対する救助要請を行う場合、レース委員会艇に「ピンク色旗」を掲揚する。この場合、指示 23.3 は適用されない。「ピンク色旗」がクラス旗の上に掲揚された場合は、そのクラスのみに適用される。

24 ごみの処分

ごみは、支援艇または運営艇に渡してもよい。

25 無線通信およびトラッキングシステム [DP] [NP]

- 25.1 緊急の場合を除き、艇は無線送信も、すべての艇が利用できない無線通信の受信もしてはならない。この制限は、携帯電話および GPS にも適用する。ただし、レース委員会が用意するトラッキングシステムは含まない。

25.2 レース委員会に指定されたクラスの艇は、レース委員会により準備されたトラッキングシステムの端末機器を指定された位置に搭載しなければならない。端末機器は指示 19.1 で行われる出艇申告までに受け取り、帰着申告時に返却しなければならない。

26 賞

レース公示の通りとする。

27 責任の否認

本大会は、競技者が自分自身の責任（規則 4「レースをすることの決定」参照）において参加することが条件であることから、主催団体は大会前、大会期間中、大会後に生じた物的損傷または身体障害もしくは死亡に対するいかなる責任も負わない。

28 規則違反によって生じた損害の補償

主催団体は、規則等に違反した艇の乗員に対して、その規則違反によって生じたすべての損害の補償を命じることができる。その損害の補償に関しては、主催団体の裁定に従うものとする。

29 感染症対策 [DP] [NP]

29.1 新型コロナウイルス感染症拡大防止についての参加条件緊急

①大会関係者（運営・選手）は、大会 2 週間前から体温測定をし、当日も平温であれば参加可能、以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる事

- ・体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
- ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- ・過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

②マスクを持参すること（陸上で競技を行っていない際や会話をする際にはマスクを着用すること）

③こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒の実施

④他の参加者、主催者スタッフ等との距離を確保すること（できるだけ 2 m 以上／障がい者の誘導や介助を行う場合を除く）

⑤大会開催中は大きな声での会話、応援等をしないこと

⑥和歌山セーリングセンターではゴミを捨てることができません。各自のゴミは各自で必ずお持ち帰りください。

⑦感染拡大防止のために主催者が決めたその他の措置を遵守し、主催者の指示に従うこと

⑧大会終了後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること

⑨「感染防止のための申告書」を毎日必ず提出し、受付で体温測定を行ってください。体温測定はクラブハウス 1 階「出艇申告所」で行います。到着後、すみやかに行ってください。

以上

添付資料 1

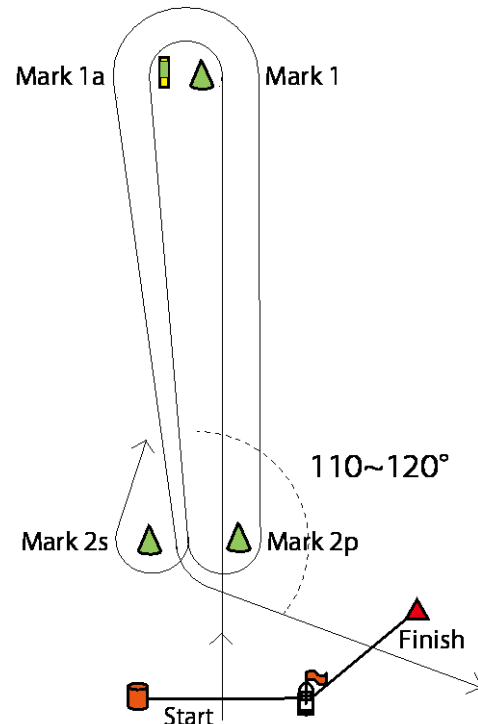


添付資料 2

コース "LR"

上下・ポート・フィニッシュ

Start-1-1a-2s/2p-1-1a-2p-Finish



2020年レーザー関西選手権大会

参加の皆様

再度確認のお願いです。

新型コロナウイルスが各地で確認されていますが、今回の大会で、感染者が一人でも出ないようにするためには、皆様の最大限のご協力が必要です。

セーリングの大会は安全に実施できることを見ていただきたいと思います。

そのためには自分のことだけでなく参加者みんなを思いやる気持ちが必要です。

感染防止のチェックシートを、もう一度確認してください。

和歌山に来られる日から毎日、「感染防止のための申告書」を選手だけではなく、監督・コーチ・保護者関係者の皆様も申告書を忘れずに記入して提出してください。よろしくお願いします。

また、各自保険証を持参してください。もしも体調不良が疑われた場合、医療機関を受診していただきたいです。お守りのつもりで必ず持って来て下さい。

2020 年レーザー関西選手権大会

選手・コーチ等の支援者・運営スタッフなどすべての参加者が遵守すべき事項

参加以前の健康チェック

- 過去 14 日以内に「発熱」「咳・咽頭痛などの症状がある」「体が重く感じる(だるさ、倦怠感)」「疲れやすい」「息苦しい(呼吸困難)」などの症状はなかった。
- 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方はいない。
- 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触はない。

参加日の健康チェック

当日朝、選手は健康状態の確認を行い、出艇申告時に確認状況を書面で申告すること。
以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること。

- 体調に問題はない
「発熱(37.0度以上)」「咳・咽頭痛などの症状がある」「体が重く感じる(だるさ、倦怠感)」「疲れやすい」「息苦しい(呼吸困難)」などの体調不良の症状がない。
- 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいない。
- 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がない。

陸上及びポンツーンにいる場合に注意すること

- マスク等を着用すること ※海上での着用は選手の責任において判断すること。
- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- 他の参加者、運営スタッフ等との距離をできるだけ2mを目安に確保すること。
- 大きな声で会話、応援等をしないこと。
- 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと。
- 選手権の終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催団体または和歌山セーリングセンターにすみやかに濃厚接触者の有無等について報告すること。
- ミーティングや懇親会、食事等においても、三つの密を避けること。

(公財)日本セーリング連盟／和歌山県セーリング連盟

2020/10/1

2020 年レーザー関西選手権大会

感染防止のため申告書



スマホなどで QR コードを読み取ってください。申告できます。

感染防止のためのチェックシートを確認しました。	はい	いいえ
事前の健康チェック。	問題なし	問題あり
今朝の健康状態。	問題なし	問題あり
今日のレースへの参加	参加します	参加しません

申告日時 2020年 月 日 時 分

所属団体・学校名など

カテゴリー 選手 監督・コーチ 保護者 その他の支援者

氏名

セール番号

連絡先(携帯電話)

メールアドレス

レーザークラス計測シート

大会名	2020 年レーザークラス選手権大会		日付	
選手名				
参加クラス	スタンダード	ラジアル	4.7	
基本情報	セール番号			
	艇体番号			
質 問			どちらかに○をつける	
セール	セールにクラスマークはついていますか	はい	いいえ	
	セール番号は貼り付けていますか？	はい	いいえ	
	セール番号は他の選手と重複してませんか？	はい	いいえ	
センターボード	クラスルールに定められた形状ですか	はい	いいえ	
	割れなどレース中にトラブルになる損傷はありませんか？	はい	いいえ	
ラダー	クラスルールに定められた形状ですか	はい	いいえ	
	割れなどレース中にトラブルになる損傷はありませんか？	はい	いいえ	
マスト	マストの抜け止めは付いていますか？	はい	いいえ	
その他	バウラインは付いていますか？（直径 6 mm、長さ 5m 以上） ※推奨	はい	いいえ	

※すべて記入して大会受付に提出すること

※艇体番号は、コックピット後面に貼ってある ISAF シール、トランサムに刻印、バウアイ下の刻印を確認すること。